

台湾人 訪日経験者400人に聞いた

台湾人の訪日観光に関する調査

台湾人にとって、“清潔感と治安の良さ”は、日本観光の大きな魅力！
5回以上の訪日経験者は3割を占め、日本の“地方”を楽しんでいる。

総合マーケティング支援を行う株式会社ネオマーケティング（所在地：東京都渋谷区）では、台湾の調査会社創市際市場研究顧問股份有限公司(InsightXplorer Limited)との提携を行い、より台湾のインバウンド・アウトバウンドの調査ニーズに対応いたします。

今回は業務提携をした創市際市場研究顧問股份有限公司とともに男女400人の訪日経験者を対象に2019年1月30日（水）～ 2月1日（金）の3日間で訪日観光に関する共同調査を実施いたしました。

【調査の背景】

2020年には東京オリンピックが開催を予定しており訪日外国人は年々増加傾向にあります。訪日人数の多い国をみると中国・韓国・台湾がTOP3の訪日国となっております。その中で、総人口に対して訪日人数の多いとされている台湾に着目し、何の目的で、何に満足して、訪日観光をしているか調査いたしました。報道の資料・インバウンド向け施策の資料としてぜひご活用ください。

- <調査概要>
- | | |
|----------|---|
| 1. 調査方法 | 株式会社ネオマーケティングが調査企画、台湾の提携会社を通じて訪日観光経験者にWEBアンケートを実施 |
| 2. 調査対象 | 台湾の20歳～59歳の男女で、訪日観光の経験者 |
| 3. サンプル数 | 400サンプル（性別×各年代 50Sづつ） |
| 4. 調査期間 | 2019年1月30日（水）～ 2月1日（金）の3日間 |

【調査結果のTOPICS】

■台湾からの訪日観光の回数と旅行タイプ

- 訪日観光の経験者は、**2回以上が全体の8割**を占め、**5回以上のヘビー層も3割強**。
- 旅行のタイプは、「添乗員ありのパッケージ」が**7割半ば**、「個人旅行」が**6割**。「クルーズ旅行」も**1割強**。

■訪日観光の目的と満足内容

- 観光の目的は、「風景・景色の観光」（**91.8%**）、「飲食をする」（**75.8%**）、「ショッピング」（**64.5%**）が**トップ3**。最も大きな目的は「風景・景色の観光」（**59.0%**）。
- 訪日観光で満足度の高かったものは、「清潔感」が**トップ**、次いで「風景や景色」「グルメ」「治安」の順。一般的な観光要因でないものの、「清潔感」と「治安」は、**大きな満足度を獲得し、訪日観光の伸びを支える大きな要因と言えます**。
- **5回以上の訪日経験者は**、回数が少ない人に比べ「治安」「旅館などの宿泊施設」「先進的な都市」「イベント祭り」を魅力に感じている。

■これまで訪問した地域とその目的

- 訪問した地域は、「関東」「近畿」が**6割台**、「北海道」が**4割**。台湾近接の「九州」「沖縄」は**3割台**。「東北」「中部」が**2割台**、「中国」「四国」は**1割以下**。
- 具体的な訪問都道府県は、「東京都」が**最も高く、60.3%**、次いで「大阪府」（**57.0%**）、「京都府」（**49.0%**）、「北海道」（**42.8%**）の順。日本の大都市が中心になっています。

1. 訪日観光の回数と旅行タイプ

1) 訪日観光の回数

➤ 訪日観光経験者の8割が2回以上の経験者。5回以上も3割を占める!

Q1.あなたが、これまでに日本へ観光の為に旅行した回数をお選び下さい。(SA)

「日本への旅行」の回数を聞いたところ、全体では「5回以上」が31.5%で最も高く、次いで「2回」が21.8%である。30代以上は、「5回以上」が最も高く、繰り返し来日して観光を楽しんでいることが伺えます。

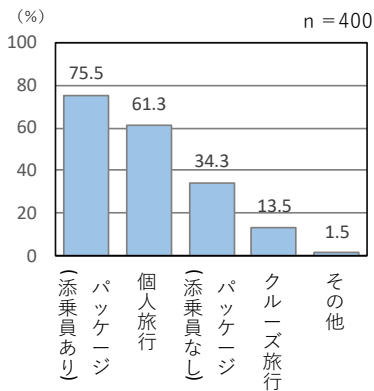
(n)	1回	2回	3回	4回	5回以上
全体 (400)	17.8	21.8	19.5	9.5	31.5
男性 (200)	17.0	22.5	18.0	12.5	30.0
女性 (200)	18.5	21.0	21.0	6.5	33.0
20-29歳 (100)	30.0	34.0	12.0	8.0	16.0
30-39歳 (100)	11.0	17.0	24.0	9.0	39.0
40-49歳 (100)	15.0	16.0	22.0	9.0	38.0
50-59歳 (100)	15.0	20.0	20.0	12.0	33.0

2) 旅行のタイプとその旅行タイプの回数

Q2.どのようなタイプの旅行でしたか。(MA)

➤ 旅行のタイプは、「添乗員ありのパッケージ」(7割)、「個人旅行」(6割)

訪日旅行のタイプを聞いたところ、「添乗員ありパッケージ」が75.5%で最も高く、次いで「個人旅行」(61.3%)、「添乗員なしパッケージ」が34.3%の順になっています。
個人旅行は、他のタイプに比べ訪日回数の割合が高くなっています。



(n)	1回	2回	3回	4回	5回以上
パッケージ(添乗員あり) (302)	49.0	25.8	11.9	5.6	7.6
パッケージ(添乗員なし) (137)	59.1	23.4	9.5	3.6	4.4
個人旅行 (245)	44.1	20.4	12.7	6.1	16.7
クルーズ旅行 (54)	90.7	7.4	1.9		
その他 (6)	83.3	16.7			

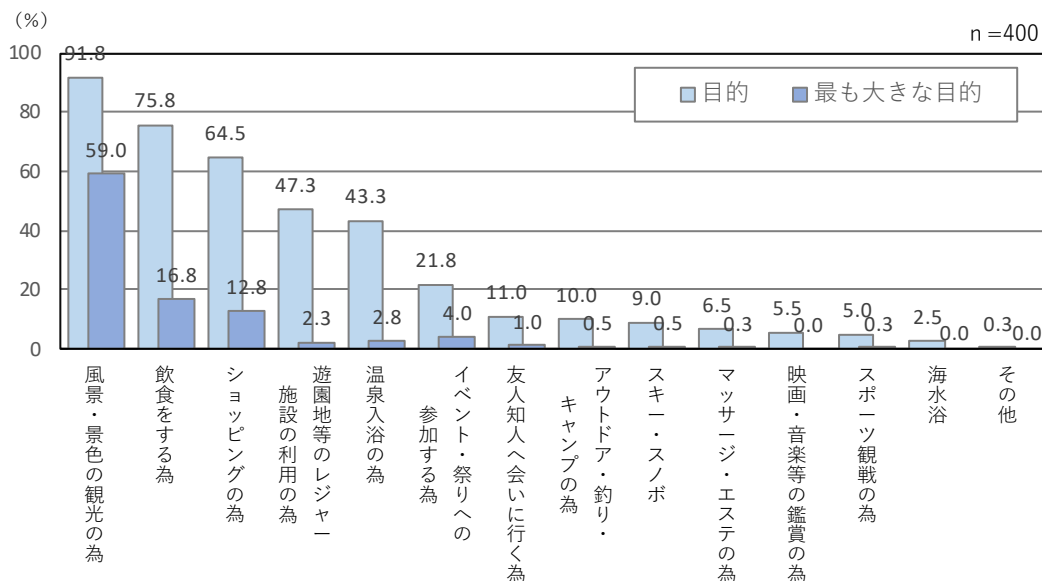
※ 1%未満は数値表示を省略

2. 訪日観光の目的

➤ 訪日観光の目的は、「風景・景色の観光」「飲食をする」「ショッピング」がトップ3 「風景・景色の観光」が主要な目的

「風景・景色の観光」が91.8%で最も高く、次いで「飲食をする」が75.8%、「ショッピング」が64.5%、「遊園地等のレジャー施設の利用」が47.3%の順になっています。
また、最も大きな目的は、「風景・景色の観光」が断トツとなっています。

Q3.あなたが、日本へ旅行する目的として当てはまるものを全てお選びください。(MA)
Q4.旅行の目的として最も当てはまるものを1つお選びください。(SA)



【※参考資料① 訪日観光目的 上位（複数回答）】

	全体	性別		年代				世帯年収		
		男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	80万未満	80万～120万未満	120万以上
n	400	200	200	100	100	100	100	127	138	135
風景・景色の観光の為	91.8	91.0	92.5	91.0	94.0	93.0	89.0	93.7	89.9	91.9
飲食をする為	75.8	75.5	76.0	79.0	82.0	73.0	69.0	76.4	74.6	76.3
ショッピングの為	64.5	62.5	66.5	68.0	67.0	64.0	59.0	63.0	64.5	65.9
遊園地等のレジャー施設の利用の為	47.3	47.5	47.0	47.0	48.0	47.0	47.0	44.1	43.5	54.1
温泉入浴の為	43.3	48.0	38.5	34.0	38.0	44.0	57.0	40.2	44.9	44.4
イベント・祭りへの参加する為	21.8	25.5	18.0	26.0	28.0	17.0	16.0	25.2	18.8	21.5
友人知人へ会いに行く為	11.0	12.0	10.0	14.0	11.0	4.0	15.0	10.2	11.6	11.1
アウトドア・釣り・キャンプの為	10.0	15.0	5.0	14.0	10.0	8.0	8.0	11.0	10.9	8.1

※色塗りは全体より10ポイント以上高い。

【※参考資料② 訪日観光目的 上位（単一回答）】

	全体	性別		年代				世帯年収		
		男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	80万未満	80万～120万未満	120万以上
n	400	200	200	100	100	100	100	127	138	135
風景・景色の観光の為	59.0	59.0	59.0	51.0	47.0	70.0	68.0	53.5	59.4	63.7
飲食をする為	16.8	18.5	15.0	23.0	25.0	10.0	9.0	21.3	17.4	11.9
ショッピングの為	12.8	9.0	16.5	16.0	17.0	11.0	7.0	17.3	10.9	10.4
イベント・祭りへの参加する為	4.0	4.5	3.5	2.0	6.0	1.0	7.0	4.7	2.9	4.4
温泉入浴の為	2.8	3.5	2.0	3.0	1.0	1.0	6.0	0.8	4.3	3.0
遊園地等のレジャー施設の利用の為	2.3	2.5	2.0	2.0	0.0	5.0	2.0	1.6	1.4	3.7

3. 訪日観光の満足度

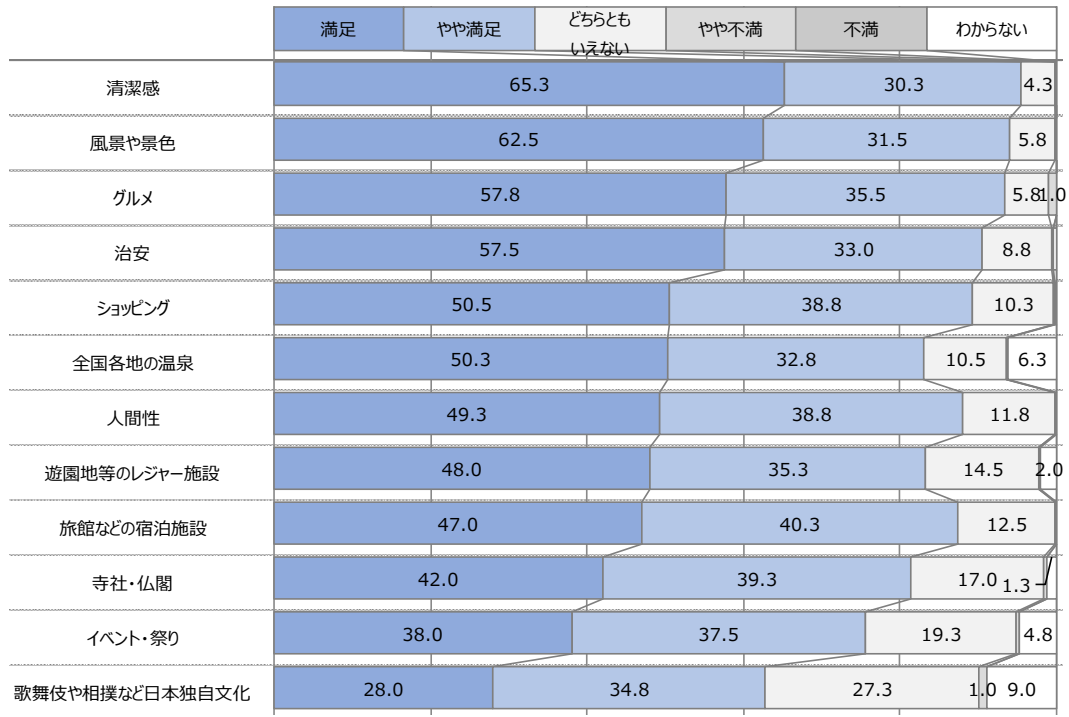
➤ 訪日観光で満足した内容の上位は、「清潔感」「風景や景色」「グルメ」の順。

Q5.以下の項目についてどの程度満足していますか。(各SA)

日本への観光内容の満足度を聞いたところ、満足の高かった上位は、「清潔感」がトップ、次いで「風景や景色」「グルメ」「治安」の順となっている。

「清潔感」と「治安」については、大きな満足度を獲得しており、海外からの日本観光の大きな魅力と言えます。

一方で、これらに比べ「歌舞伎や相撲などの日本独自文化」「イベント・祭り」「寺社仏閣」などの「満足」の割合は低くなっています。



※ 1%未満は数値表示を省略

【「満足」の属性別の回答率】

	Total	性別		年代				世帯年収		
		男性	女性	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	80万未満	80万~120万未満	120万以上
清潔感	65.3	65.0	65.5	65.0	60.0	67.0	69.0	60.6	68.1	66.7
風景や景色	62.5	62.5	62.5	62.0	62.0	65.0	61.0	58.3	67.4	61.5
グルメ	57.8	58.5	57.0	55.0	48.0	69.0	59.0	50.4	62.3	60.0
治安	57.5	58.5	56.5	54.0	54.0	64.0	58.0	53.5	63.0	55.6
ショッピング	50.5	50.0	51.0	49.0	49.0	52.0	52.0	46.5	52.9	51.9
全国各地の温泉	50.3	51.5	49.0	45.0	46.0	52.0	58.0	45.7	54.3	50.4
人間性	49.3	50.5	48.0	47.0	45.0	53.0	52.0	49.6	52.9	45.2
遊園地等のレジャー施設	48.0	49.5	46.5	56.0	44.0	49.0	43.0	40.9	50.0	52.6
旅館などの宿泊施設	47.0	50.0	44.0	56.0	34.0	50.0	48.0	41.7	52.2	46.7
寺社・仏閣	42.0	42.5	41.5	49.0	40.0	42.0	37.0	40.2	44.2	41.5
イベント・祭り	38.0	39.5	36.5	45.0	29.0	42.0	36.0	34.6	42.8	36.3
歌舞伎や相撲など日本独自文化	28.0	28.0	28.0	34.0	24.0	29.0	25.0	26.0	30.4	27.4

※色塗りは全体より10ポイント以上高い、低い。

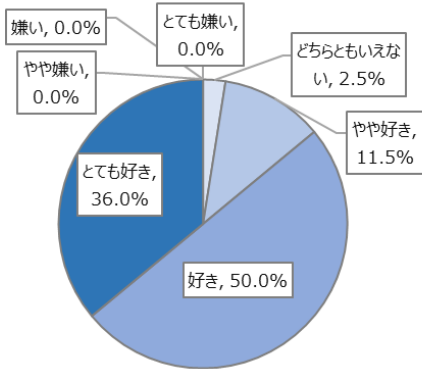
4. 日本の好意度と日本への旅行の推奨度

➤ 日本の好意度は、「とても好き」「好き」が全体の8割半ば、「日本の推奨度」も8点以上が8割近く!

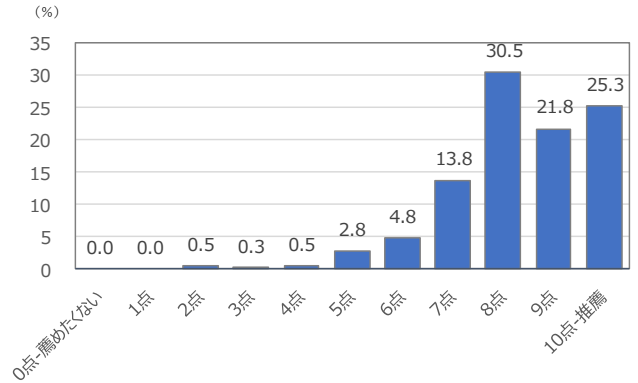
日本の好意度は、「とても好き」が36.0%、「好き」が50%、「やや好き」が11.5%になっております。また推奨度は、10点満点中で8点以上を付けた方が合計77.6%になっています。

Q6. 日本をどの程度好きですか。(SA)
Q7. あなたは「日本への旅行」を親しい友人や家族に、どの程度すすめたいと思いますか。0~10点で点数を付けてください。

【日本の好意度】



【日本旅行の推奨度】



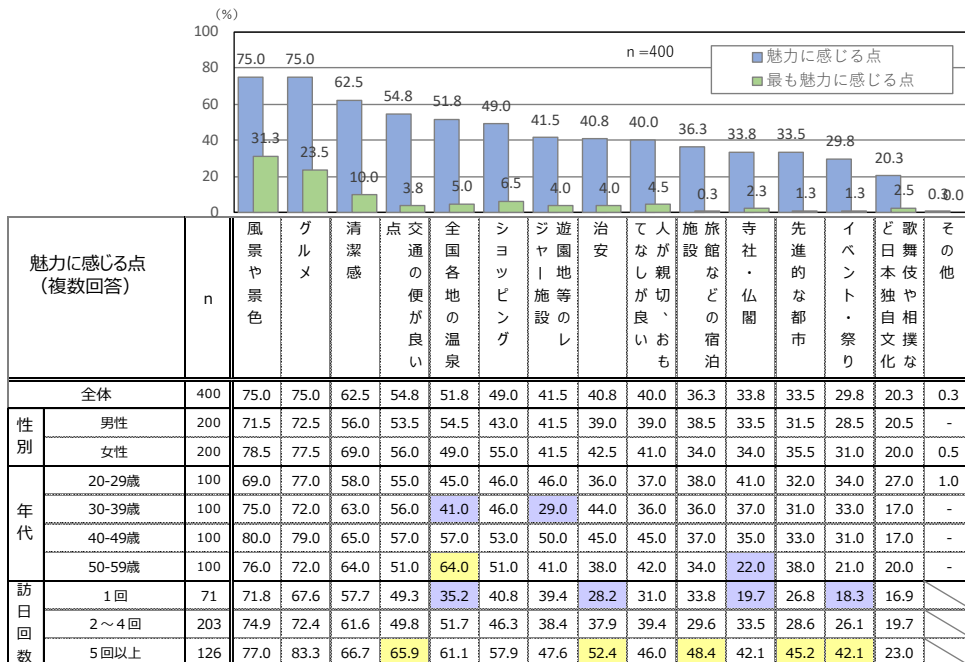
5. 日本の魅力に感じる点

➤ 「風景や景色」と「グルメ」が2TOP。3位の「清潔感」も6割が支持

日本で魅力を感じる点は、「風景や景色」「グルメ」がそれぞれ75%で最も高く、次いで「清潔感」が62.5%、「交通の便が良い」が54.8%の順である。

また、最も魅力を感じるものは、「風景や景色」(31.3%)、「グルメ」(23.5%)が2TOP。なお、訪日回数が多い人は、回数が少ない人に比べ「治安」「旅館などの宿泊施設」「先進的な都市」「イベント祭り」を魅力に感じている。

Q8. 日本で魅力を感じる点を教えてください。(MA)
Q9. 日本で最も魅力を感じる点を教えてください。(SA)



※色塗りは全体より10ポイント以上高い、低いところ

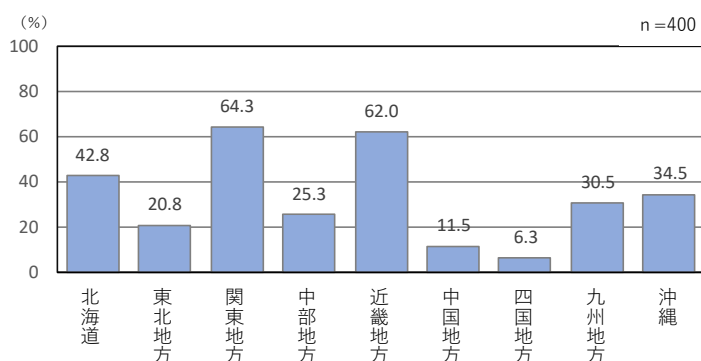
6. 訪問した観光地

➤ 訪問先は「関東地方」「近畿地方」が6割台、「北海道」が4割。訪日経験多数者は地方を訪問!

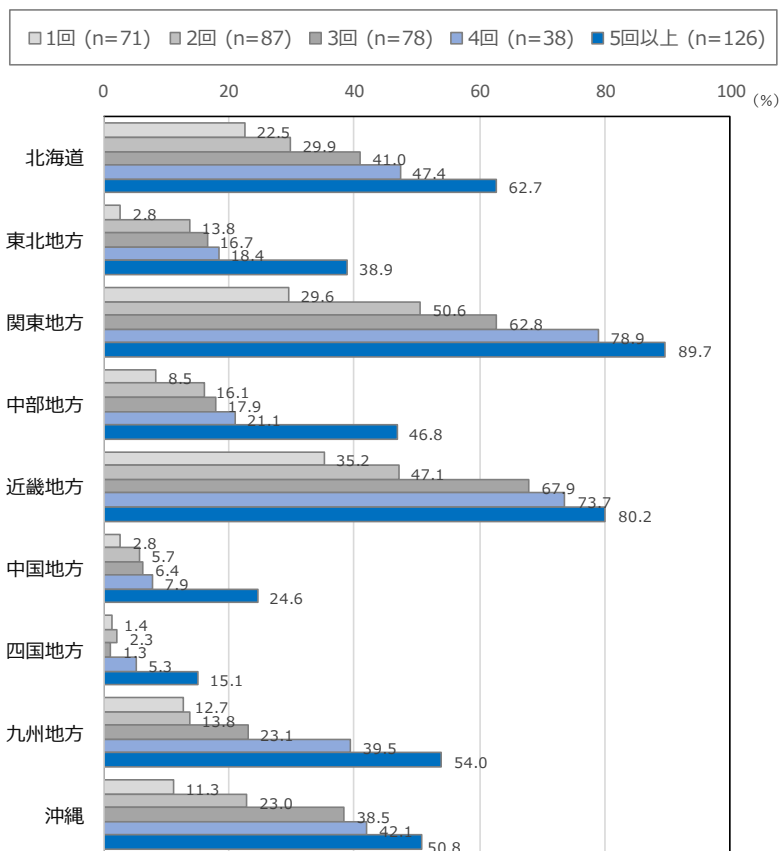
訪問した地域は、「関東」「近畿」が6割台、「北海道」が4割。近接の「九州」「沖縄」は3割台。「東北」「中部」が2割台、「四国」はまだ1割未満となっている。

5回以上の訪問者について地方への訪問状況を見ると、「九州」「沖縄」「中部」への訪問経験率が5割前後の高さとなる。一方で、「中国」「四国」は1・2割台の低さであるが、東北地方は4割近くと、訪問率が意外と高くなっています。

Q10.あなたが、日本へ観光のために旅行した際、実際に訪れた場所をお答えください。(MA)



【訪問回数別の訪問経験地】



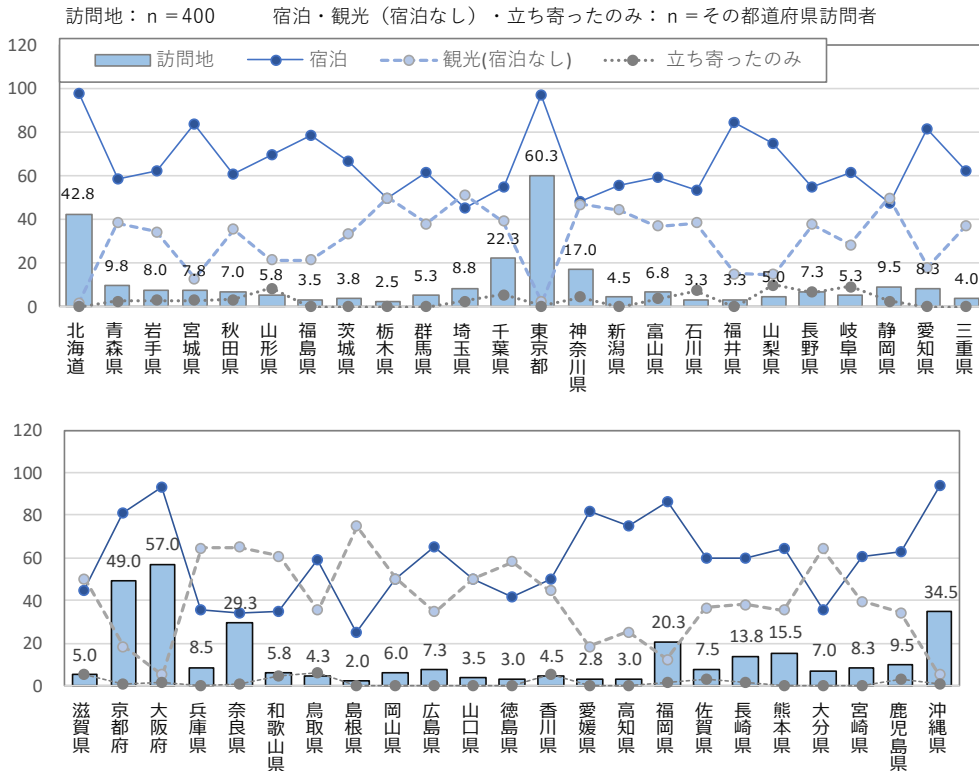
※サンプル数が少ないところがあります。

➤ 訪問先の具体的な都道府県は、「東京都」「大阪府」「京都府」の順である。

訪問した都道府県は、「東京都」が60.3%で最も高く、「大阪府」が57.0%、「京都府」が49.0%、「北海道」が42.8%、沖縄の34.5%である。今までの訪日結果であるが、大都市のある都道府県が中心になっています。

Q11.あなたが、日本へ観光のために旅行した際、実際に訪れた場所をお答えください。(MA)

【訪問地とその目的】 ※「目的」の結果は、サンプル数が少ないケースがありますので参考



■ 引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
 <例>「総合マーケティング支援を行なうネオマーケティングが実施した調査結果によると……」

■ 「ネオマーケティング」

URL : <https://www.neo-m.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

ネオマーケティング広報事務局 担当：高倉
 E-mail : press@neo-m.jp